



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第137号

- 発行 北海道幌延町議会
- 編集 議会報編集委員会
- 電話 01632-5-1111
- FAX 01632-5-2971

主な内容

一般質問	6～8
第6回幌延町議会定例会	8～9
西天北五町衛生施設組合全員協議会	9
北留萌消防組合議会定例会	9
まちづくり常任委員会	10
原子力機構報告会	10
議会の動き	11
行政視察報告会	11
編集後記	11



3氏が質問

一般質問 第6回定例会（12月10日）

地域の課題をとらえて

■ 深澤 幸博
■ 齋賀 弘志
■ 佐藤 忠志

質問 設立が昭和63年（1989年）で35年経過し、開基百年から約26年がたち、我が町の歴史、文化が蓄積されているべき場所と認識している。

町長は、郷土資料館の存在の意義をどのように考え、認識されているのか。

町長 町の歴史や民俗資料、動植物標本、鉱物資料など郷土資料の収集・保存管理を目的として、幌延町の歩みを知ることと学ぶことができる貴重な資料館であると認識している。

質問 施設開館後の入館者の推移、最大、最少の年と人数、令和5年度より以前3年分の人数は。

教育長 オープンから令和5年度まで延べ1万2,786人。入館者が多かったのは、オープンした昭和63年度1,903人、少なかったのは、令和3年度93人、

令和4年度153人、令和5年179人で、年々減少傾向にある。

質問 設立後、展示物の配置、内容収集、模様替えなどの経緯は。

教育長 大々的な展示物、模様替えは、過去に行った経緯はない。

質問 今後に向けて、どのように維持検討されていくのか。

教育長 これまで同様に維持管理に努め、令和元年から動き出した管内市町村間のネットワークを活用し、近隣の学芸員等の専門家の支援を頂きながら、今後、展示替え、模様替え、修復作業等を行っていかねばと考えている。

質問 この1年間、町長、教育長、何度、訪れたか。

町長 コロナ以降は、行っていないが修繕とか維持管理で行っている。



深澤 幸博

・郷土資料館の設置・管理運営について